

第59号

平成28年9月2日



市議会だより

6月定例会

6月22日～29日

7月臨時会

7月27日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉

平成28年度 柿崎佳吉神社祭典

7月15、16日



- 市有財産の譲渡—消防団詰所を上大沢区防災倉庫に
- 世界一の海づくり基金新設—ふるさと応援寄附を財源
- 子ども教育・保育に関する利用者の負担を軽減
- 中学生まで対象—医療費無料化10月開始

6月定例会総括

下田市議会6月定例会(22日～29日)は、8日間の会期で開かれ18議案が上程されました。このうち付託された議案は、総務文教委員会と産業厚生委員会それぞれ慎重な審査が行なわれ、本会議においていずれも原案どおり可決されました。一般質問は4議員が登壇し、合わせて10項目にわたる質問が行なわれた他、「静岡地方税滞納整理機構議会議員」、「静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員」の選挙が実施され閉会しました。

補正予算案可決により、下田市一般会計総額は、当初の93億9800万円から8097万9千円増額され94億7800万円となります。なお、7月4日をもって任期満了の楠山市長と同日付で退任された糸賀副市長の挨拶が、閉会前に行なわれ、4年間に及ぶ市政への思いと議会への感謝と期待の言葉が述べられました。

総務文教 常任委員会

- 委員長 土屋 忍
- 副委員長 滝内久生
- 委員 進士為雄 竹内清二 鈴木 敬 伊藤英雄 沢登英信

条例関係

【議題51号】市有財産(建物)の譲与について
市有財産である旧第2分団第3部(上大沢)消防団詰所を上大沢区に防災倉庫として、譲与するためのものです。昨年度上大沢・下大沢・蓮台寺の消防団が統合され、詰所が一所に集約新築されたためです。



委員長 小泉孝敬
副委員長 進士濱美
委員 橋本智洋 大川敏雄 増田 清 森 温繁

【議題52号】下田市世界一の海づくり基金条例の制定について
この条例は、観光まちづくりのひとつとして下田市の海を活用した体験学習や体験活動、マリンスポーツの普及、安心、安全な海辺環境整備等の推進により地域の振興に資するため、下田市世界一の海づくり事業推進の財源を確保するため、基金を設置するものです。

【議題55号】下田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
この条例は、

(一) 被用者保険で、標準報酬月額最高等級に該当する被保険者割合を0・5%～1・5%の範囲に収まるよう法定されている上ルールとのバランスを考慮

(二) 政府経済見通しで物価の上昇が続くと見込まれていることも踏まえ、物価の上昇の影響で軽減対象が縮小しないよう、軽減判定所得の引き上げを行うもので、5割減では、世帯所得合計が「33万円+被保険者×26万円」以下が対象でしたが、2割減では47万円を48万円に改正するものです。なお、改正による影響は対象者が49人、23世帯であり、保険税については、97万円の減額となります。(軽減分については、市が4分の1を負担します)

【議題56号】下田市地域包括支援センターの包括的支援事業の職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定に

【議題53号】下田市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例の制定について
ふるさと応援寄附金を財源として実施する事業及び管理運営する基金を、社会福祉や教育・子育て・防災対策など8項目であったものに、「魅力ある海づくりの推進に関する事業」を加え9項目とし、世界一の海づくりを目指すためとしたものです。

【議題54号】下田市子どもための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について
小学校就学前の子どもの利用者負担額を軽減するためのもので、例えば年収360万円未満相当の世帯では年齢制限が撤廃されるため、多子世帯では保育料が半額又は無料となる事が考えられます。条例の施行は平成28年4月1日からとなりますので詳しくは学校教育課にお問い合わせください。

【議題57号】下田市民スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について

この条例は、介護保険法施行規則等の一部改正に伴い所要の改正を行うもので、主任介護支援専門員更新研修において、研修を修了した者の次に更新研修を修了した日から起算して5年を超えない期間ごとに介護支援専門員更新研修を修了したものを加えるものです。

平成28年度 下田市 一般会計補正予算

*市民保健課

- 住民基本台帳ネットワーク事務 561万3千円
- 個人番号にかかる平成28年度分の地方公共団体情報システム機構交付金です。
- 国民健康保険会計繰出金 44万2千円
- コンビニ収納代行委託にかかる国民健康保険事業特別会計への繰出金です。

*産業振興課

- 林業振興事業 371万9千円
- 主なものは、地域おこし

下田市民スポーツセンターに陶芸窯を設置することに伴い、その使用料を素焼き1回3千円、本焼き1回7千円とするもので、条例の施行は平成28年11月1日からとなります。

平成28年度 下田市 一般会計補正予算

*企画財政課

- 地域振興事業補助金 49万5千円
- 自治総合センターコミュニティ助成金補助金 400万円
- 地区集会所建築補助金 49万5千円

*税務課

- ふるさと応援基金積立金 171万5千円

*地域防災課

- 市税徴収事務 コンビニ収納代行委託 87万9千円
- 地域防災対策総務事務 津波避難ビル耐浪調査委託 321万円
- 津波ハザードマップ改修

*観光交流課

- 観光まちづくり推進事業 89万4千円
- 観光施設管理総務事務 300万円
- 世界一の海づくり基金 10万2千円
- 橋梁維持事業 1010万円

*建設課

- 有害鳥獣対策事業 501万7千円
- 有害獣被害対策事業補助金100万円、緊急捕獲活動支援事業補助金98万7千円、伊豆地域鳥獣害対策連絡会補助金303万円です。

*福祉事務

- ほのぼの福祉基金積立金 23万5千円
- ふるさと納税分 40万円
- 子育て支援基金積立金 40万円
- 放課後児童対策事業 エアコン設置工事 110万円
- 教育振興基金積立金 4万円
- ふるさと納税分 4万円
- 奨学振興基金積立金 野口観光寄附金 1002万円
- 小学校管理事業 浜崎小学校屋内運動場改修工事 630万円
- 中学校管理事業 稲椋中学校屋内運動場改修工事 920万円
- 図書館管理運営事業 特殊建築物定期調査委託 8万5千円

委託

*福祉事務

- ほのぼの福祉基金積立金 23万5千円
- ふるさと納税分 40万円
- 子育て支援基金積立金 40万円
- 放課後児童対策事業 エアコン設置工事 110万円
- 教育振興基金積立金 4万円
- ふるさと納税分 4万円
- 奨学振興基金積立金 野口観光寄附金 1002万円
- 小学校管理事業 浜崎小学校屋内運動場改修工事 630万円
- 中学校管理事業 稲椋中学校屋内運動場改修工事 920万円
- 図書館管理運営事業 特殊建築物定期調査委託 8万5千円

*学校教育課

- 小学校管理事業 浜崎小学校屋内運動場改修工事 630万円
- 中学校管理事業 稲椋中学校屋内運動場改修工事 920万円
- 図書館管理運営事業 特殊建築物定期調査委託 8万5千円

*生涯学習課

- 図書館管理運営事業 特殊建築物定期調査委託 8万5千円



*建設課

ゆのもと橋耐震補強工事実施設計委託費です。

7月臨時会総括

下田市議会7月臨時会は27日に会期を一日と定め開かれました。こども医療費の助成に関する条例改正案及びそれに伴う一般会計補正予算と消防団活動推進事業の内、正副分団長と部長が着用する反射チョッキ購入費75万3千円の予算が審議され全会一致で可決されました。また、条例改正により、10月1日から6歳までのこどもに加え、中学校卒業までを対象に、通院1回500円、入院1日500円の負担がなくなりました。





NP市庁舎前

NP市長表敬訪問

CCNYホール見学

タウンセントハリス墓参

ペリー提督墓前祭

友情を深めた子供たち

フェアウェルパーティー

間のバス移動を経て、ニューヨーク市に到着した訪問団一行は、市内ビクターセンターで行われた市民歓迎会に招待されました。ニューヨーク市ナポリターノ市長はじめ市の評議員や関係者の皆様、ロードアイランド日米協会ヴァイナー会長、下田交流協会の市民の皆様、中学生と随行の船渡先生を4日間迎え入れていただくホストファミリー3家族（マッカーシー家、ピートリ一家、ポイル家）など、多くの暖かな歓迎をいただきました。市民団の皆様も持ち寄ったお土産を各自交換するなど終始和やかな雰囲気です。下田市からは振袖を纏ったウサギの人形を、ニューヨーク市からは市のシンボルであるパイナップルを象ったガラス製の置物を、それぞれ公式のギフトとして交換しました。

このパイナップル、ニューヨーク市内の至るところで目にします。意味をお伺いすると、その昔、大航海時代、出発地であった当地には多くの乗組員家族が住んでおり、無事航海を終えた船員は家族とご近所に南洋の土産としてパイナップルを持ってきたとのこと。これにちなんでパイナップルは当時危険が多かった渡航に対し、無事帰ってくることを家族平穏を祈願するものとして街のシンボルに

なるとのことでした。

翌日は、市長表敬訪問。重厚な歴史ある市庁舎の佇まいに圧巻されつつも、満面の微笑みで迎え入れてくれたナポリターノ市長のおもてなしに心が和らぎます。市長室内は、下田黒船祭のポスターやこれまでの訪問団の写真、下田市からの贈り物が市長室内の至るところに展示されておりました。また、市庁舎前に木陰を落とす1988年の下田市訪問団により植樹された楓の大きさを拝見し、改めて両市の歴史の深さと強い絆を感じることが出来ました。

その後、市内中心にあるトロパークで行われた第33回ニューヨーク黒船祭の記念式典へ出席。厳粛な雰囲気の中、米海軍による演奏、日米両国歌独唱、各要人のスピーチ、記念碑への花輪奉獻などのプログラムが挙行されました。私からの挨拶はこれまでの下田とニューヨークの交流の歴史を紹介するとともに、これからの更なる友好親善への願いを述べました。

この式典を皮切りに開催されるニューヨーク黒船祭は、ペリー提督の功績を称えるほか、その後培われた日米交流を祝うもので、プログラムの多くには日

本文化を紹介する内容が掲げられています。その一つ、翌日行われたArts & Crafts Fairには下田市ブースが展示され、ニューヨークにて合流し、このブースの運営に多大なるご協力をいただいている進士薫輝さんと妙子さんご夫妻、杉村忠さんのご指導のもと、凧作りと折り紙教室を運営。渡航前に凧作りの練習を重ねた中学生4名をはじめ、私たち訪問団も指導役として参加し、地域の子供たちや市民の皆様との交流を楽しみました。会場内は他にも茶道、武道、生け花、邦楽の演奏など、公園内のあらゆるところで日本文化にまつわるブースが展示披露されており、改めて日本文化に対する関心の強さを実感しました。

滞在中はナポリターノ市長主催の夕食会や、ロードアイランド日米協会主催の晩餐会など、多くのイベントへお招きいただき、4日間の滞在時間はあっという間に過ぎていきました。中学生たちもホストファミリーの案内の元、マリネレジャーやスポーツ観戦、野外バーベキューなど貴重な体験をさせていただいたとのこと。日に日に輝きを増してくる彼らの目を見るにつけ、嬉しい限りでした。



姉妹都市

ニューヨーク市訪問記

平成28年度訪問団団長 竹内 清二

昭和33年に姉妹都市として提携以来、長きに亘り友好を深めている米国ロードアイランド州ニューヨーク市は、下田市とゆかりあるマシュー・ペリーの出身地です。ここで開催された第33回ニューヨーク黒船祭へ、7月12日〜19日の日程で、4名の中学生を含む12名の皆様とともに出席してまいりました。

下田市役所前で開かれた壮行会へご出席賜った福井市長、佐々木教育長、石井ニューヨーク市クラブ会長をはじめ、参加の中学生保護者各位、下田市職員など多くの皆様のお見送りの中、すでに渡米されている4名を除く、鈴木愛海さん（下田中）・小泉詩士君（稲梓中）・岩本ことねさん（稲生沢中）・森田勇輝君（東中）の中学生4名、野田光男前教育長と祥子さんご夫妻、随行の下田中学校教諭船渡祥太先生・議会議務局望月奈緒子、そして私の計9名が出発。まだ見ぬ地を前に各々の期待と緊張の表情が印象的でした。

長時間の移動を経て現地時間17時、一行は米国ニューヨーク空港に到着。ニューヨーク訪問を前に、この訪問団は毎年ニューヨークに滞在します。これは下田玉泉寺に設置された日本初の米国駐日領事館に初代総領事

として赴任したことで知られるタウンゼント・ハリスのゆかりの地を訪問するためのもので、今回も2日間の滞在期間中に2カ所を表敬訪問いたしました。

まずは墓参のためハリスが眠るグリーンウッドセメタリーを訪問。広大な墓地は日本のそれと違い公園のような作りです。ハリスが眠る墓地は日当たりのよい小高い丘にあり、墓石の脇には下田の玉泉寺から送られた灯籠と石碑が立っており、背後には記念植樹された桜とハナミズキが大きく育っていました。これらの下田からの贈り物は、第1回下田訪問団がこの地を訪れた際、あまりに小さな石碑に嘆いた当時の玉泉寺村上住職が帰国後、下田市民へ寄付金を募り、翌年に設置されたそうです。先人の下田人の粋な計らいを誇らしく感じました。墓前に参加者それぞれが花を手向け、ハリスの功績に敬意を表しながら参拜。その後、もう一つのゆかりの地、ニューヨーク市立大学（CCNY）に向かいました。

CCNYではハリスの功績に関するレクチャーを受講。日本では初代駐日総領事など外交官として知られるハリスですが、本国での彼の評価は、当時の支配階級に制限された排他的な体

制であった私立学校の教育環境に疑義を抱き、わけ隔てなく無償で受けられるCCNYの前身校「フリーアカデミー」を創設した教育者であることを知りました。更には創設者であるにもかかわらず、その後大学の規模が大きくなるに連れ、彼の功績と存在が薄れつつある中、1986年の下田市民団の表敬訪問を契機にハリスの人物像が改めて学内にて注目されたこと。そして、その後の学内におけるハリスご本人と日本文化の研究のきっかけになったことが述べられ、下田市民への感謝の意が伝えられたことに驚きと誇らしさを感じました。

レクチャーの後、CCNY主催による昼食会にお招きいただきました。代表によるスピーチ、プレゼント交換や歓談、中学生たちも現地の日本語専攻の学生さんたちとの交流を深めるなど終始和やかな雰囲気でした。改めて歓待を賜りました大学の皆様に心より感謝申し上げます。

昼食会終了後は学内キャンパスの見学。アメリカの建築家ジョージポストの作品で、州と連邦政府の歴史建造物に指定されているシエパードホールをはじめ、ボザール様式の建物の数々は見事な装飾が施される素晴らしい建築作品ばかりでした。ニューヨークを後にし、長時

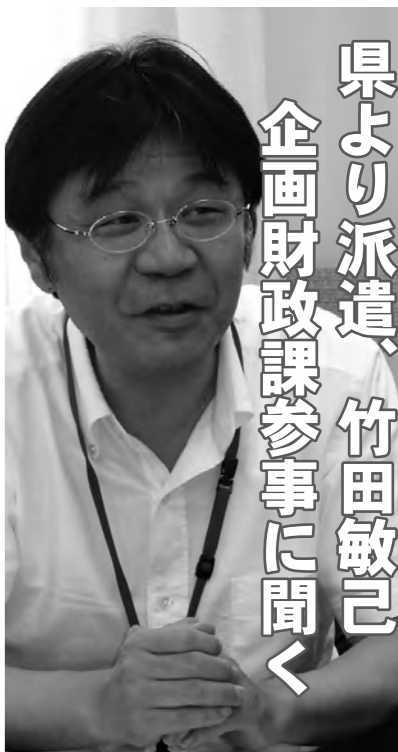
今回の訪問最後のプログラムはさよならパーティー。郊外に広がるブドウ畑の中にあるニューポートワイナリーを会場に今回お世話になったすべての皆様が一室に介し、盛大に開催されました。ヴァイナーさんの粋な計らいで「上を向いて歩こう」を合唱。涙を堪えるのに必死なほど感動の瞬間です。別れの時間が近づくと、会場のあちらこちらで会話が弾み、子供たちは遊びに盛り上がるなど、下田からの訪問団全てが別れを惜しむ雰囲気になりました。渡航前は不安な面持ちだった中学生たちに「まだまだ居たいでしょ？」と尋ねたところ、即答で「居たいです！」と返事を貰った瞬間、団長として形容し難い嬉しさに溢れました。

1984年第1回ニューポート黒船祭開催を機に始まった市民訪問団は、今回を含めこれまで中学生約110名を加えた約420名の下田市民がニューポート市を訪問、約320名のニューポート市民が下田を訪れております。これほどまでに多くの皆様が長きに亘り交流を続ける意義を、今回の経験により改めて認識できたことは、私にとり、また訪問団各位にとって大変貴重な体験でした。タウンゼント・ハリスやマシュー・ペ

リーが残した歴史的偉業に地理的要因で下田が偶然関わっていた。ただそれだけでは、今回の様な歓待は無かったことでしょう。CCNYの皆様、ニューポートの皆様、日米協会の皆様がお互におっしゃる「下田への感謝」は、下田ニューポートクラブを始め、これまで長きに亘り培われた先輩諸兄のご尽力の賜物であり、この交流が築き上げた強い友情こそが、77回も続く下田黒船祭に関わる外務省や自衛隊、米国大使館他関係者の良好な関係の根底にあるものと強く認識しました。この絆はこれまでも世代を超えて下田市民の中で長年受け継がれてきたものです。今後も恒久的に下田市最大のイベント「黒船祭」が変わらず続けられるよう、そして日本国下田市が「平和都市」として世界へ広く認知されるよう、私たち世代もこの友好を受け継ぎ継承していく必要性を強く感じました。

改めて下田ニューポートクラブの皆様へ、今回の渡米にあたり歓迎を賜りましたCCNY・ニューポート市関係各位に、準備に勤しんでいただきました市役所・学校関係各位に、そして生涯の記憶に残るであろう時間を共に過ごしていただきました参加者12名の皆様へ、心より感謝申し上げます。

県より派遣、竹田敏己 企画財政課参事に聞く



Q 生年月日、出生地、最終学歴、職歴、家族構成、趣味をお聞かせください。

A 昭和42年4月16日生まれ49歳、藤枝市出身、駒澤大学を卒業後、平成3年4月に静岡県採用、東京事務所、ユニバーサルデザイン室、管財課等を経験し、2年前下田財務事務所所管理班長として赴任してきました。独身で、趣味は、読書です。

Q 派遣元の静岡県では、下田財務事務所所属されていたと伺いました。昨年度までの職務や経験についてお聞かせください。

A 事務所の総務です。今年度から始まった「賀茂地方債権整理回収協議会」の設立準備に総務として関わっ

ていました。

Q 着任前、下田に関してどのようなイメージをお持ちでしたか？着任の辞令を受けた時の感想も含めてお聞かせください。

A 下田市には、県庁にいた頃、年に数回出張で来ていました。泊まりの出張が多かったため、吉佐美周辺の民宿をよく利用していました。夕飯の魚料理がおいしかった思い出があります。

Q 着任後、3か月が過ぎましたが、現時点での下田市役所内、課内の雰囲気いかがですか？

A わからない中、皆さんにいろいろ教えてもらっています。みんな、仕事に前向きでいい雰囲気だと思います。

Q 昨年度までの下田市の施策について、不足していると感じたものは何ですか？併せて特化していると感じたものはありますか？

A 下田市に限った話ではありませんが、町中を歩いていると空き店舗など見受けられ、中心市街地の活性化が必要であると感じています。

Q 県からの派遣というところで、市内からは県行政との連携を期待する声がかかります。県との協働事業はどのようなものがあるでしょうか？また、県との窓口として取り組んでいることはありますか？

A 現在、賀茂地域6市町と県が連携し、人口減少問題や地域のさまざまな課題への取組を推進するため「賀茂地域広域連携会議」を設置しています。この4月から、「賀茂広域消費生活センター」と「賀茂地方税債権整理回収協議会」が実際に



業務を始めました。今後も、「地籍調査の共同実施」など賀茂地域で共同して取り組むことを検討中です。賀茂地域特有の課題に市町が単独でなく賀茂地域で力を合わせ取り組むことにより、より良い行政サービスの提供を図れるよう努めています。

Q 着任後、初めて取り組んだ仕事は何ですか？また、今後の展開や可能性をお聞かせください。

A 4月13日に下田市と玉川大学が「連携・協力に関する基本協定」を締結しました。これは、相互が持つ人的・知的資源を活用し、地域が抱える課題の解決や地域振興に向けて連携・協力して取り組むため協定を締結したものです。5月の黒船祭では稲生沢小学校の児童が参加した行事へ通訳として、玉川大学の学生に参加してもらいました。今後は、10月に稲生沢小学校と稲穂小学校で行われる外国語活動交流に学生に参加してもらおう予定です。教育分野以外にも連携・協力が広がればと考えています。

Q 今後の下田市の展開、展望について、取り組んでいきたい内容等お聞かせください。

A 現在、県では、安全・安心で魅力ある地域づくりを目指す「内陸のフロンティア」を拓く取組を推進しています。下田市が現在抱



える多くの課題の中で、解決のためのモデルケースになるような案件を申請するための検討を行っています。下田市は、ピーク時に比べ人口が8千人以上減少し、市の基幹産業である観光産業についてみると、観光客数が平成18年と比べると平成26年で50万人減少しています。人口減少や産業の低迷は下田市に限ったことではありませんが、限られた予算の中で、「第4次下田市総合計画」や「下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた施策を着実に推進する必要があります。地方創生の取組を推進することにより、下田市にとってよかったといわれるような施策の実施、また、お手伝いできたと思っています。

6月定例会一般質問

- 竹内 清二（自公クラブ）**
 - 市内各学校の運営について
- 小泉 孝敬（自公クラブ）**
 - 下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 増田 清（自公クラブ）**
 - 企業誘致について
 - 伊豆縦貫自動車道建設について
 - 市有地及び道路用地管理について
 - 市の発注について
- 沢登 英信（日本共産党）**
 - 中学再編の経緯と問題点について
 - 海水浴場の整備と「渚の交番」設置構想について
 - 人事評価と人事異動の取り組みについて

人事案件

○人権擁護委員の推薦
人権擁護委員の任期満了に伴い、土屋眞理子氏（立野）、佐々木一宏氏（白浜）、河井恵美子氏（吉佐美）を推薦することについて、適任と判断しました。

○固定資産評価員の選任
日吉由起美氏（大賀茂）を選任することについて、同意しました。

6月定例会審議結果

番 号	6 月 定 例 会 議 案 件 名	審 議 結 果
報第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度下田市一般会計補正予算（第7号））	承 認
報第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号））	承 認
報第6号	専決処分の承認を求めることについて（下田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について）	承 認
報第7号	平成27年度下田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	議 決 不 要
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
議第50号	下田市固定資産評価員の選任について	同 意
議第51号	市有財産（建物）の譲与について	原 案 可 決
議第52号	下田市世界一の海づくり基金条例の制定について	原 案 可 決
議第53号	下田市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第54号	下田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第55号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第56号	下田市地域包括支援センターの包括的支援事業の職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第57号	下田市民スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第58号	平成27年度下田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原 案 可 決
議第59号	平成28年度下田市一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議第60号	平成28年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
	静岡地方税滞納整理機構議会議員選挙	
	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	
	常任委員会の閉会中の継続調査について	

《賛否が分かれた議案》

（○：賛成 ×：反対 -：欠席）

番 号	6 月 定 例 会 議 案 件 名	進士為雄	進士濱美	橋本智洋	滝内久生	竹内清二	小泉孝敬	大川敏雄	鈴木敬	伊藤英雄	土屋忍	増田清	森温繁	沢登英信	審 議 結 果
議第52号	下田市世界一の海づくり基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原 案 可 決
議第53号	下田市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原 案 可 決
議第57号	下田市民スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原 案 可 決

※議長（森温繁）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

7月臨時会審議結果

番 号	7 月 臨 時 会 議 案 件 名	審 議 結 果
議第61号	下田市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第62号	平成28年度下田市一般会計補正予算(第2号)	原 案 可 決

編集委員会

委員長 土屋 忍
 副委員長 小泉 孝
 委員 進内 清二
 委員 滝内 久生

臨海学校などで交流のある荒川区議会議員の方々が下田を訪問した時、「下田の海は美しいのは勿論だが、砂浜や磯など色々な形態の海があり、素晴らしい」と口を揃えておっしゃっていました。美しい下田の海、いつまでもこのように言っていただけのように、魅力ある海づくりの推進をして行きたいと考えます。（土）



議会を傍聴
 しましょう

市議会へのご意見ご要望をお寄せ下さい